



学校法人 渡辺学園創立 140周年記念館

Watanabe Gakuen Educational Foundatio 140th Anniversary Memorial Hall

2026年10月 完成予定

渡辺学園創立140周年記念館は、社会課題の解決につながるデジタル時代のスキルと創造性の育成を目指し、学生ファーストで環境を整備し、2026年10月、板橋キャンパスに完成する予定です。



A棟 7F
イメージーションガーデン*
表現力を磨く映像拠点
全学共通教育科目の「デザイン思考B」の授業などで、映像メディア制作の基礎を学びます。2つの「スタジオ」では、学生自身が授業の課題、社会課題プロジェクト、サークル活動あるいは就活で使う動画の撮影などを行い、表現力を磨くことができます。さらに、学内ワークスタディ活動としてデジタルに強い学生は、「イメージーションハブ」を利用し自主的にデジタル技術を学びたい他の学生へのアシストを行うことができます。



A棟 8F
クロスメディアガーデン*
つながる、広がる学びの体験
「クロスメディアサテライト」では、板橋・狭山両キャンパスをオンラインで結んだ合同授業に、圧倒的な映像体験を通じて参加することが可能です。狭山キャンパスにも「クロスメディアサテライト」を設置しますので、授業だけでなくサークル活動やイベントなどキャンパスを超えた学生間の交流もできます。さらに、ものづくりガーデンやイメージーションガーデンでの成果を最新のクロスメディアの活用により、学生のみならず様々な形で発表することができます。



A棟8階からの眺め

B棟 1F
大屋根テラス
出会いから生まれる創造スペース

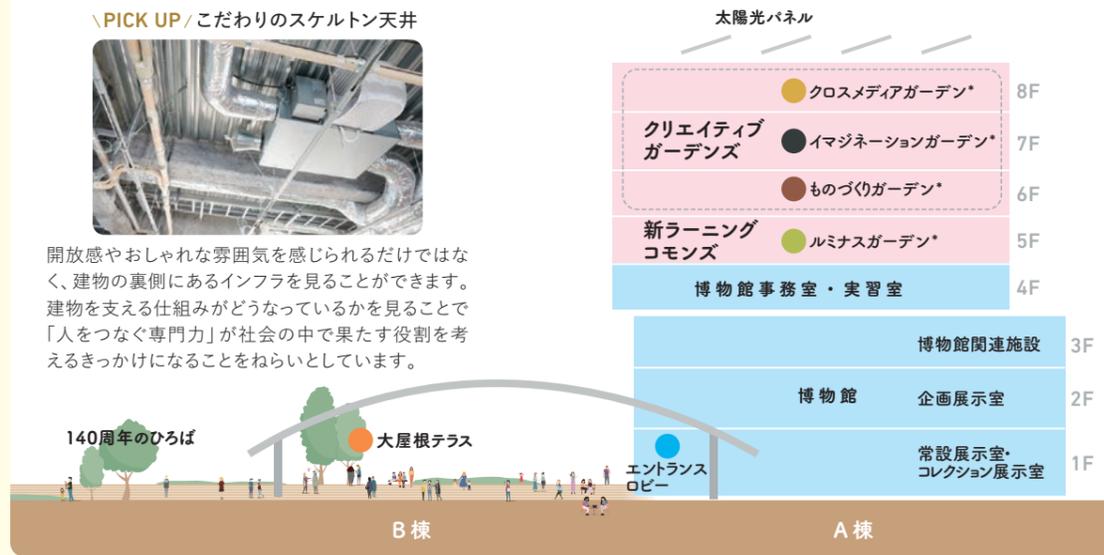
中学・高校・大学・学外など、十条門から訪れるすべての方を迎え入れ、それぞれの場所への中継点として人が交わる場所です。そして、憩いとくつろぎ、学びやサークル活動などによる表現発信の場、人と人、人とモノ、人と学び、などの交流の結節点となります。学生のアイデアで無限に広がる表現創造スペースです。



A棟 6F
ものづくりガーデン*
アイデアを形にする制作空間
全学共通教育科目の「デザイン思考A」の授業などで、デジタルファブリケーションの基礎を学び、3Dプリンタなどの活用が出来るようになります。それを元に、学生のみならず自身が授業・自主活動などでの多様な社会課題解決プロジェクトに取り組むことができます。その取り組みを支える場である、「Fabスペース」2箇所や、「ものづくりギャラリー」、「ものづくり commons (オープンスペース型講義エリア)」を活用できます。



140周年記念館フロアガイド



A棟 1F
エントランスロビー
学びの始まりを感じるロビー



CLOSE UP!
杉板浮造り調
コンクリート打ち放し

安全第一！理事長が先陣を切って視察へ

A棟 5F
ルミナスガーデン*
学びをシェアする知の広場



個人の学びをシェアし、新たな価値を共創する「知の交差点」です。集中して熱く議論するガラス張りのキューブ、即座にアイデアを形にしてプレゼン練習ができるモニター完備エリア、人数に合わせて変幻自在な可動式のテーブルイス。その日のニーズや気分に合わせてレイアウトが学生の創造力を引き出し、一人ひとりの自分らしい学びを実現します。

新校舎コンセプト

伝統・現在・未来を結ぶ140周年記念館

140周年記念館は学園の伝統と未来、そして現在を結ぶ建物です。本記念館は、学生の集いと出会いの場としての「大屋根テラス」、歴史と伝統を訪ね、次の時代を見据える場としての「博物館」、未来への新たな学びと研究の場となる「新しいラーニング commons (5F)」とDX推進フロア(6・7・8F)という3つのコンセプトからなります。これら3つのコンセプトが一体となり、伝統を訪ね主体的に学び、society 5.0を視野に入れ超スマート社会の未来を生きる力を育む場となります。